

おめでとうございます

浅見道雄氏が 『瑞宝単光章』を受章

このたび、浅見道雄氏（白石）が瑞宝単光章（危険業務従事者叙勲）を受章されました。

当初は、4月29日に発令が予定されていましたが、震災対応を考慮して延期となっており、6月15日付で政府から発表となったものです。

浅見氏は、昭和43年3月に陸上自衛隊に入隊、練馬第一師団・第一普通科連隊に所属し、平成16年1月までの約36年の長きにわたり自衛隊員として活躍されました。この間、日本の中枢・東京を一手に担う連隊として、中央閱覧式、大喪の礼、即位の礼、各国要人に対する儀仗等、国を代表する各種行事に従事し

安全を守るとともに、数々の災害派遣や不発弾処理等の危険を伴う業務に取り組みました。浅見氏は、「今まで多くの方々にお世話になり、お陰さまで今回受章することができました。受章は、素直にうれしい半面、選ばれなかった方に申し訳ない気持ちもあります。勤務する中でつらいことも多々ありましたが、過ぎてみると今はいい思い出です。何事も継続することが大切だと改めて実感しました。

引き続き予備自衛官として勤務する中で、今後も日本の発展のために尽力していきたい。」とおっしゃっていました。



東西小学校統合にかか る説明会の概要報告

8月11日、午後7時から東秩父村コミュニティセンター「やまなみ」において、東西小学校統合にかかる説明会が開催されました。

これは、東秩父村立小学校統合検討委員会が、先にまとめた「東秩父村における望ましい小学校の姿」（前月号の広報掲載）をもとに、ここに至る経過の説明と、さらなるご意見をうかがうため、村民の皆さまを対象に開催したものです。参加者は47名（受付での名簿記載）でした。

開会の辞（福島重次副委員長、主催者挨拶（吉田英夫委員長）に引き続き、委員長を座長として、説明と協議に入り、事務局が経過の説明を行った後、意見交換が行われました。

意見としては、統合を早く実現してほしいという内容のものをはじめとして、通学距離が長くなることや、それに伴う負担の公平性を求めるものなどがありました。統合そのものに反対する発言はありませんでした。また、西小学校の保護者から、諸般の条件から東小学校の校舎

を活用することに異論はないが、このような形の中でゆっくり見たこともないので、見学したいという意見があり、現在行われている木質化の工事が終了後、教育委員会で見学会を設けることになりました。

一時間余りの意見交換のうち、発言が途切れたところで、座長から求められて、高野勉教育長がこれまでの意見を要約し、この内容は今後の検討



▲意見を述べる参加者



▲説明会の様子

委員会の参考にする旨のまとめを行い、最後に大久根宏教育委員会委員長が閉会の辞を述べ、説明会を終了しました。

問合せ
教育委員会
電話 82・1230